

どのお稽古に参加しようかな？

あてはまるものに✓マークをつけてみよう。

コース選びに迷ったら、自分の好きなことと、コースとの共通点を探してみよう。



お芝居をしたり、舞ったりするもの

能舞台に
立ってみたい

舞うことが好き

歴史や物語が
好き

おもいきり
大きな声を出してみたい

謡・仕舞
うたい・しまい

能のなかの謡（歌唱）と舞の両方を学びます。謡は、背筋を伸ばしお腹の中から力強く謡います。仕舞は、連続する型の一つずつ覚え、力強く優雅に舞うところが魅力です。



能舞台に
立ってみたい

お笑いが好き

お芝居を
してみたい

おもいきり
大きな声を出してみたい

狂言
きょうげん

2～3名が組になって、ひとつのセリフ劇を学びます。独特の言葉づかい、型に沿った動きの中から、おかしみ溢れる世界を作ります。長いセリフを覚えるのが大変ですが、舞台では大きな声で、身体いっぱい演技します。



着物を着て
踊ってみたい

ひとりで
浴衣を着られる
ようになりたい

からだで表現する
ことが好き

みんなと
ひとつのことを
するのが好き

日本舞踊
にほんぶよう

浴衣を着て、お辞儀やすり足などの基本の所作、発表曲のお稽古を丁寧に重ねていきます。役柄を演じる楽しさはもちろん、気持ちや自然の風景描写など日本舞踊ならではの豊かな表現に心を込めて向き合います。



楽器の演奏をしたり、歌ったりするもの

管楽器を
演奏してみたい

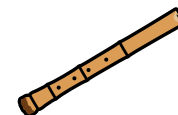
自分だけの音を
作ってみたい

わ
侘び寂びの
かっこいい世界観に
触れてみたい

コツコツ
取り組むのが好き

尺八
しゃくばち

尺八はシンプルな構造だけに、音を出すことが難しい楽器です。口の形や息の吹き方のコツを教わりながら、自宅練習することで、少しずつ音が出るようになります。息の強さではなく、深い呼吸がポイントです。



管楽器を
演奏してみたい

澄んだ音を
響かせたい

お祭りの
はやし
お囃子が好き

コツコツ
取り組むのが好き

囃子(篠笛)
はやし しのぶえ

篠笛は柔らかく空に響き渡るような音色が美しい楽器です。音を出すのが難しく、きれいな音を出すには、自宅練習が欠かせません。発表会が近づくと、唄と三味線の演奏とあわせてのお稽古になります。



弦楽器を
演奏してみたい

きれいな音色を
奏でてみたい

歌うことが好き

みんなと
ひとつのことを
するのが好き

箏曲〈おこと〉
そうきよく

右手の3本の指に箏爪をつけ、弦をはじくと、とても繊細な音が響きます。お稽古を重ねることで、音に力強さが加わります。弾き歌いと合奏を通して、全身で音楽を感じられることが魅力です。



弦楽器を
演奏してみたい

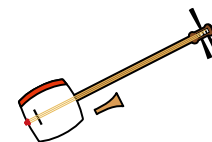
かっこいい音を
鳴らしてみたい

右手と左手で
別々の動きを
やってみたい

みんなと
ひとつのことを
するのが好き

三味線
しゃみせん

三味線は、右膝と左手で棹と胴を支えて構えます。構えができれば、左手で弦を押さえながら棹の上をすべらせ、撥で音を出します。柔らかい音や力強い音など、撥の使い方によって音色が様々に変化するのが魅力です。



打楽器を
演奏してみたい

リズムを感じたい

お祭りの
はやし
お囃子が好き

おもいきり
大きな声を出してみたい

囃子(小鼓)
はやし こづみ

小鼓はにぎやかでリズムカルな日本のパーカッション。「よーっ」「ほーっ」と大きな掛け声も特徴です。お稽古では講師の合図をみつめています。三味線とあわせ何度も繰り返すことで曲を覚え、発表会に臨みます。

